まちの話題

松前地区春の芸能祭

3月3日、白神寿の家で「第43回松前地区春の芸能祭」が開催されました。

この芸能祭は、松前地区文化団体協議会（会長・佐橋實孝）の主催で毎年開催されているもので、会場には、町内外から約100人が来場しました。

芸能祭では、この日のために練習を重ねてきた方々が舞踊や歌謡などを披露し、観客からは大きな拍手が送られました。

松前中学校サッカー部 全道大会で奮闘

3月2日、3日に札幌市で開催された「全道フットサル選手権大会2019 U－14の部」に松前中学校サッカー部が出場しました。

部員数の少ない松前中学校サッカー部は、知内中学校サッカー部との合同チームでの出場となりました。

大会では、惜しくも勝ち上がることはできませんでしたが、選手たちは全道大会の舞台で精一杯プレーしていました。

松前百人一首少年団 全道大会で健闘

2月3日、函館市で開催された「第11回渡島管内地域子ども会かるた大会」で松前百人一首少年団の「桜花蓮」が小学生の部で準優勝に輝き、全道大会の出場を決めました。

2月17日、札幌市で開催された「第22回北海道子どもかるた大会」では、残念ながら勝利を収めることはできませんでしたが、選手たちは最後まで諦めることなく試合に臨んでいました。

■出場チーム

桜花蓮（小学生の部）

藤井　咲那（さな）（松城小6年）

小野寺省吾（しょうご）（松城小5年）

藤井　悠那（ゆうな）（松城小5年）

小野寺理子（りこ）（松城小2年）

全道大会会場の様子

白熱したラリー 町民バレーボール大会

2月24日、町民体育館で「第37回松前町民バレーボール大会」が開催され、9チームが出場しました。

大会にはベテランの選手から若手の選手まで出場し、選手たちはチームで息を合わせてボールを繋いでいました。

大会の結果は次のとおりです。

優勝　腹黒酒井ｗｉｔｈ黒いカイトゥー

準優勝　ソフトバレー愛好会

第3位　なんちゃってチーム

伝統を次世代へ 松前神楽鑑賞会

2月25日、松城小学校と大島小学校で「松前神楽の鑑賞会」が行われました。

これは、平成30年3月に国の重要無形民俗文化財に指定された松前神楽を、町内の小学生に鑑賞してもらおうと企画されたものです。

鑑賞会では、清部神楽保存会（会長・斉藤昇一）の皆さんに演舞を披露していただき、松城小学校の4年生と、大島小学校と小島小学校の3・4年生、会場を訪れた地域の方々総勢100人が松前神楽を鑑賞しました。

演舞が終わってからも、子どもたちからは「松前神楽はどのようにして現代まで伝えられてきたのか」など多くの質問が寄せられ、子どもたちは松前神楽にたいへん興味を持った様子でした。

松城小学校

大島小学校

松前神楽とは

松前神楽のはじまりは、江戸時代まで遡ります。松前藩六代藩主松前矩広（のりひろ）の時代に、松前城内で初めて藩の公式行事として奏上されました。

その後、松前神楽は各地に広まり、現在では松前町や函館市のほか、福島町や小樽市、留萌市など、道南や日本海側の地域で行われています。

松前神楽は神職や氏子、地域住民によりにより支えられ、今日まで約350年保存伝承されてきました。

現在町内では、今回舞を披露した清部神楽保存会、松前神社、松前神楽原口保存会などが松前神楽の継承とPRに尽力しています。

4月29日には、松前城広場で「松前神楽公開公演」が行われる予定ですので、皆さんぜひお越しください。

100歳 おめでとうございます

3月に**山上きく**さん（江良）が満100歳を迎えられました。

町長からお祝いの花束が贈られ、長寿をお祝いしました。

今後もお体に気をつけて元気にお過ごしください。

ふるさと想いなつかしむ 函館松前会

3月2日、函館市で、ふるさと松前を離れ、函館市圏域に在住している方々で組織している**函館松前会**（会長・沼田順悦）の総会が開催され、会員約50名が出席しました。

初めに沼田会長からのあいさつと、石山町長や伊藤町議会議長から町政や松前の近況などの報告がありました。

そのあとの懇親会では、カラオケなどを楽しみました。

出席された皆さんは、ふるさとの仲間と会うのを楽しみにしており、思い出話しに花を咲かせていました。